

令和 6 年度 事業報告

社会福祉法人 宮崎市社会福祉事業団

目 次

1	事業概要	1
2	理事会・評議員会・監査等	8
3	組織図・業務詳細	10
4	職種別職員数・役員数	11
5	部門別事業報告	12
6	その他	34

別添資料	令和6年度 宮崎市総合発達支援センター 利用状況について（月別）	42
------	-------------------------------------	----

1 事業概要

宮崎市総合発達支援センター設置から 20 年が経過する中、少子化による年少人口の減少とは対照的に、子どもの発達への不安を抱える保護者や子育て支援関係者からの相談が増加しています。

- 5 また、生活介護サービス利用者の高齢化に伴うニーズの多様化・高度化や、介護人材の不足は深刻であり、社会情勢にあわせた体制の構築が必須となってきました。

- 10 このような中、当事業団では、医師の確保や職員の正職化、専門職の増員等の体制強化のほか、各種研修会への参加及び関係機関との連携により職員のスキルアップや働きやすい職場環境の整備を進めてきました。

- 15 特に、令和 6 年 4 月に児童福祉法の一部改正が施行され、児童発達支援センターが、地域における障がい児支援の中核的な役割を担うことが明文化されたことに伴い、当センターの役割についても見直しを進め、市より示された、「外来相談機能の強化」「障がい児通所部（すぴか）の改編」「障がい児通所部（すぴか）地域支援チームの新設」の方針のもと運営体制の再構築に取り組みました。

（１）運営施設・事業

- 20 宮崎市が設置する合計 17 福祉施設の指定管理者として、またそれらの施設を拠点にした福祉事業の受託者として、適正な職員配置、施設の安全管理の徹底、福祉サービスの質の向上を図り、健全経営に努めました。

指定管理施設	宮崎市総合発達支援センター 1 施設
	宮崎市児童館・児童センター 12 施設
	宮崎市老人福祉センター・老人いこいの家 4 施設 (赤江運動広場含む)
主な受託事業	宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター事業ほか
	宮崎市児童クラブ運営業務 4 箇所
	宮崎市巡回児童館運営業務
	宮崎市ハロー・キッズルーム運営業務

(2) 宮崎市総合発達支援センター

障がいのある児童とそのご家族に対し、適切な支援を行う総合的な療育の拠点となるよう施設の運営に努めました。

また、宮崎市が推進する DX 環境整備の一環として導入した電子カルテシステム、福祉システムを活用し、利用者に安心・安全な医療や療育の機会の確保に努めました。

ア 総合診療所

様々な障がいやその疑いのある就学前児童を中心に診断、検査を行い、総合的な評価に基づく治療、訓練、療育指導等を行いました。

利用状況

	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度 対比	主な増減要因
外来診療 受診者数 (延べ人数)	11,895 人	11,698 人	98.3%	・診療枠の調整による減
機能訓練 利用者数 (延べ人数)	9,329 人	8,835 人	94.7%	・診察枠の調整に伴い 訓練数が減少

イ 児童発達支援センター すぴか

就学前の運動機能に障がいのある児童や発達に障がいのある児童を対象に、家庭と連携した療育体制づくり（保護者面談、親子保育、保護者学習会）を図りながら、遊びを中心に据えた発達支援、また、地域支援の構築のため、保育所等訪問支援事業、施設支援の開始に向け職員の実地研修を開始しました。集団保育による生活全般への支援を行いました。

利用状況

	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度 対比	主な増減要因
契約児数 (最多)	40 人	40 人	100.0%	—

年間延べ 利用人数	7,823 人	8,222 人	105.1%	・ 年間の契約児数の増加
--------------	---------	---------	--------	--------------

ウ 指定生活介護事業所 宙（そら）

5 利用者やその家族に対するモニタリングやアセスメント（個別面談やアンケート）により、様々なニーズを把握し、日中活動の計画及び提供に反映させ、支援の充実を図りました。また、重度の障がいがある在宅者を対象に、活動や行事を通して利用者間の交流や仲間づくりを行い、充実した生活の場を提供しました。

利用状況

	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度 対比	主な増減要因
契約者数 (最多)	46 人	47 人	102.2%	—
年間延べ 利用人数	4,085 人	3,695 人	90.5%	・ 年間の契約者数の減少

エ そうだんサポートセンター おおぞら

オ 宮崎市そうだんサポートセンター すぴか

15 そうだんサポートセンター おおぞらにおいては、①障がい児者に対する家庭訪問、面接及び電話等による相談、②福祉保健医療サービスに関する調整や情報提供等、③訪問による学校、幼稚園及び保育所等の支援など、相談支援機関として中核的役割を担いました。

宮崎市そうだんサポートセンター すぴかでは、主に就学前の児童とその家族を中心に、アセスメントを通して障がい児支援利用計画の作成及びモニタリングを実施しました。

実施事業

	事業内容	従事者
宮崎市委託	・ 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター事業 ・ 宮崎市障がい児等療育支援事業	・ 相談支援専門員 ・ 子育て相談員 ・ 医療的ケア児等コ

	・宮崎市医療的ケア児等支援事業 ・宮崎市発達障がい児等早期支援強化事業	ーディネーター
自主事業 (宮崎市指定)	・計画相談支援事業及び障がい児相談支援事業	・相談支援専門員

自主事業としてサービス等利用計画及び障がい児支援利用計画を作成し、法人の財務基盤安定に努めました。

	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度 対比
サービス等利用計画	1,322 千円	1,388 千円	105.0%
障がい児支援利用計画	4,957 千円	5,216 千円	105.2%

5 カ その他

支援センターでの内部連携、医療・福祉・教育機関との外部連携に取り組み、より一層の支援の充実を図りました。

	主な連携先	主な内容
内部連携	診療所—障がい児通所部 診療所—障がい者通所部 診療所—地域生活支援部	・障がい児種別保育 ・給食時の摂食嚥下指導 ・作業療法室での協働保育活動 ・理学療法士等の定期的な支援 ・療育等支援事業
	障がい児通所部—地域生活支援部	・障がい児利用計画に関する調整 ・サービス利用計画に関する調整
外部連携	宮崎大学医学部附属病院 国立病院機構宮崎東病院 宮崎県立宮崎病院 宮崎県発達障害者支援センター 宮崎県中央福祉こどもセンター 宮崎市保健所 宮崎県・市教育委員会 市内小中学校・支援学校 市内幼稚園・保育所	・利用児者に関する情報共有、紹介 ・乳幼児や学齢期児童への支援 ・医療的ケア児等コーディネーター養成等事業への講師派遣 ・母子保健事業（乳幼児健康診査、すこやか広場、ちびっこランド） ・医療的ケア児等の支援 ・研修の講師派遣 ・就学相談委員会への職員派遣 ・就学予定児童の引継ぎ ・利用児者に関するケース会議

	児童発達支援事業所 障がい福祉サービス事業 所	・運営に関する情報交換 ・利用全般に関する調整
--	-------------------------------	--

(3) 宮崎市児童館・児童センター 12 施設

地域の子どもを対象に、安全で安心な遊び場を提供し、健全育成を図るとともに、子育て家族への支援や地域の子育て環境づくりに貢献する施設として、遊びの指導提供、行事開催、自然体験活動及びボランティア活動等を行いました。

また、地域における子育て親子の交流等を促進する「子育て交流ひろば」、保健師、助産師及び児童厚生員による定期的な「子育て相談」、高齢者との交流事業による地域との連携強化に重点を置いた「生き生き地域活動応援事業」の充実を図りました。

指定管理運営対象 12 施設

児童館	霧島、恒久、栄町、大島、倉岡、本郷
児童センター	大塚台、西原、平和が丘、檉、木花、大塚

利用状況

	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度 対比	主な増減要因
年間延べ 利用人数	118,869 人	127,570 人	107.3%	・地域合同の防災イベントの実施による増 ・インセンティブ事業でミュージカル発表や音楽発表の実施による増

(4) 放課後児童健全育成事業

児童クラブでは、小学校や地域と連携し、放課後児童の健全育成に努め、多様な保護者のニーズに対応しました。

巡回児童館では、地理的な理由で児童館利用が困難な地域の自治公民館等へ児童厚生員が遊具を持参して巡回し、遊びを提供しました。

ハロー・キッズルームでは、小学校内に拠点を置いて児童館に準じた遊び場を提供しました。

事業の拠点

児童クラブ	倉岡（児童館内）、倉岡第二（小学校内） 住吉（小学校内）、住吉第三（小学校内）
巡回児童館 ※1 地区あたり週 1 回	小松台、住吉南、大宮、宮崎南、学園木花台、広瀬北、 高岡、七野、国富、穆佐 の各小学校区
ハロー・キッズルーム	大淀（小学校内）

利用状況

	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度 対比	主な増減要因
年間延べ 利用人数	53,132 人	52,154 人	98.2%	・登録児童数の減少に伴う減 ・台風による休館に伴う減 ・感染症による学級閉鎖に伴う減

※令和 6 年度で児童クラブ運営業務の受託については終了。

(5) 宮崎市老人福祉センター・老人いこいの家 4施設

地域の高齢者を対象に、相互の信頼・親睦を深め、老後の生きがいを感じることができるよう、趣味、娯楽、教養、健康づくりに関するサークル活動やレクリエーション活動、入浴、健康器具、健康に関する相談・教室等のサービス提供を行いました。

指定管理運営対象 4施設

老人福祉センター	南部、赤江（赤江運動広場含む）
老人いこいの家	住吉、古城

利用状況

	令和5年度	令和6年度	前年度 対比	主な増減要因
年間延べ 利用人数	55,842 人	56,893 人	101.9%	・教養講座（学習・園芸・運動）や様々なイベント実施による増 ・クラブ活動の定着による増

(6) 本部事務局

法人の総合的な企画調整、人事、財務を担い、主に施設及び事業運営の総括的管理、労務管理、事業計画及び予算決算業務、理事会及び評議員会等の開催など、法人運営の中核として適正かつ効率的な業務を遂行しました。

また、部門長会議（宮崎市総合発達支援センター）、館長会（児童館・児童センター、老人福祉センター等）などの調整にあたり、内部の重要会議において情報提供、問題提起及び意思決定を行いました。

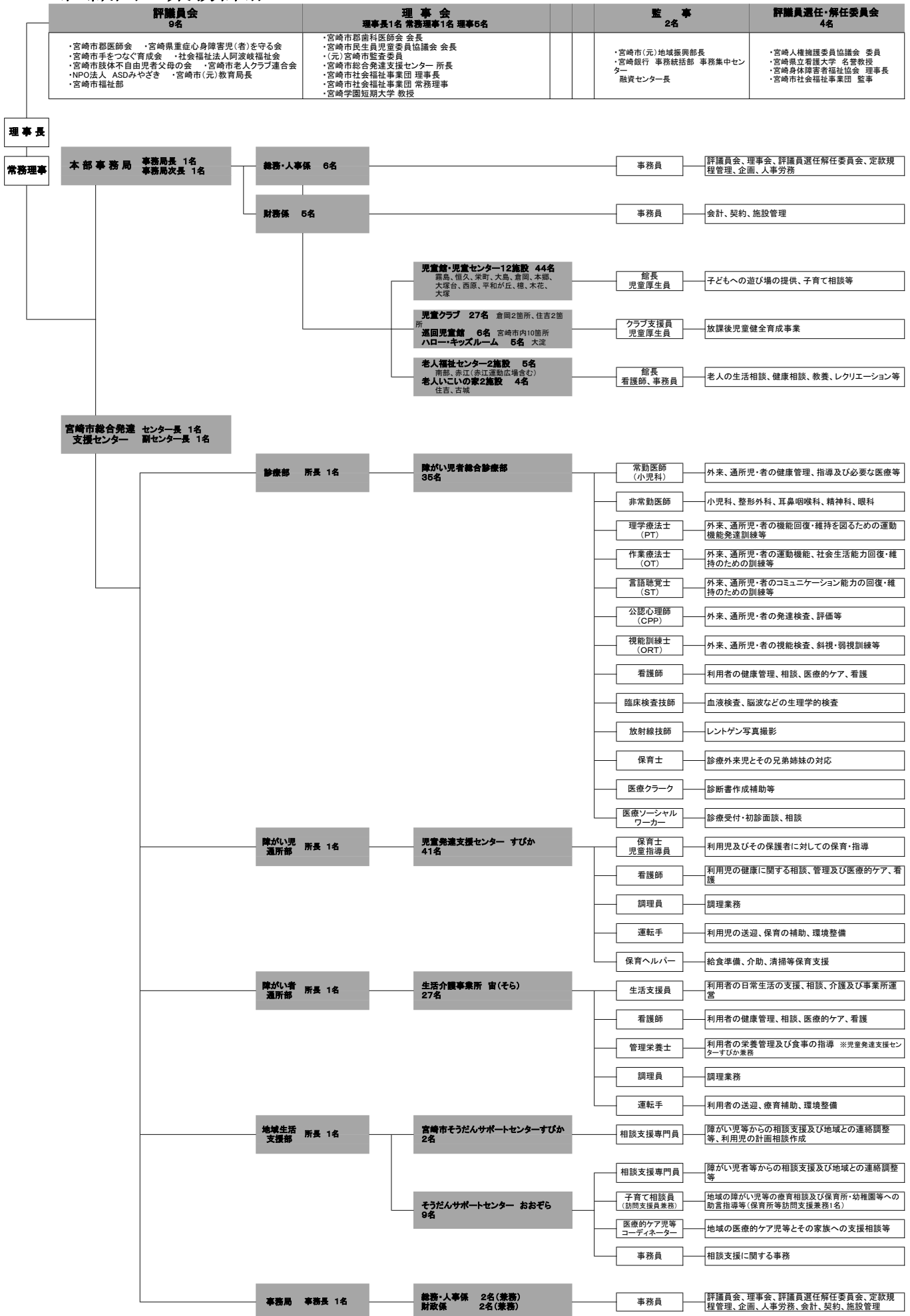
2 理事会・評議員会・監査等

月 日	区 分	議 題
6. 4. 25 提案 6. 4. 27 決議	第 1 回 理事会 (決議省略)	議案第 1 号 施設の長他の重要な職員の選任について
6. 5. 16	監事監査	令和 5 年度事業報告、計算書類及び財産目録の監査
6. 5. 28	第 2 回 理事会	報告第 1 号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告第 2 号 予備費の使用について 議案第 1 号 令和 5 年度事業報告について 議案第 2 号 令和 5 年度決算並びに財産目録等について（監査報告） 議案第 3 号 定款の一部改正について 議案第 4 号 臨時職員就業規程の一部改正について 議案第 5 号 理事の選任候補者について 議案第 6 号 定時評議員会の招集について 議案第 7 号 役員等賠償責任保険について
5. 6. 20	第 1 回 評議員会	報告第 1 号 宮崎労働基準監督署の調査の結果及び是正・改善報告について 報告第 2 号 宮崎県指導監査の結果について 報告第 3 号 令和 5 年度事業報告について 議案第 1 号 令和 5 年度 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について 議案第 2 号 定款の一部改正について 議案第 3 号 理事の選任について
6. 6. 25	第 3 回 理事会	報告第 1 号 予備費の使用について 報告第 2 号 理事の就任について 議案第 1 号 令和 6 年度第一次資金収支補正予算（案）について 議案第 2 号 児童福祉法に基づく宮崎市そうだんサポートセンターすぴか運営規程（指定障がい児相談支援事業）の一部改正について 議案第 3 号 苦情解決のための第三者委員の選考について 議案第 4 号 常務理事の選定について 議案第 5 号 施設の長他の重要な職員の選任について
6. 11. 21 提案 6. 11. 28 決議	第 4 回 理事会 (決議省略)	議案第 1 号 施設の長他の重要な職員の選任について

月 日	区 分	議 題
7. 3. 12	第 5 回 理事会	報告第 1 号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告第 2 号 予備費の使用について 報告第 3 号 令和 6 年度社会福祉施設等指導監査の結果について 報告第 4 号 令和 6 年度障がい福祉サービス事業者等の運営指導の結果について 報告第 5 号 令和 6 年度特定相談支援事業者等の運営指導の結果について 報告第 6 号 宮崎市児童クラブ運営業務委託の終了について 議案第 1 号 令和 6 年度第二次資金収支補正予算（案）について 議案第 2 号 令和 7 年度事業計画（案）について 議案第 3 号 令和 7 年度資金収支予算（案）について 議案第 4 号 定款の一部改正について 議案第 5 号 組織及び事務分掌規程の一部改正について 議案第 6 号 職員給与規程の一部改正について 議案第 7 号 契約職員就業規程の一部改正について 議案第 8 号 嘱託職員就業規程の一部改正について 議案第 9 号 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 議案第 10 号 旅費規程の一部改正について 議案第 11 号 福祉サービスに関する苦情解決規程の一部改正について 議案第 12 号 児童発達支援センターすびか運営規程の一部改正について 議案第 13 号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第 14 号 施設の長他の重要な職員の選任について

3 組織図・業務詳細

令和7年3月31日現在 役員等22名、職員総数225名



4 職種別職員数・役員数（実数）

令和7年3月31日現在 単位:名

所 属				宮 崎 市 総 合 発 達 支 援 セ ン タ ー																															
職 種	事務長 副センター長（医事） センター長			診 療 部																	障がいの児通所部					障がいの者通所部									
	小児科 小児科 小児科	小児科 小児科	小児科 小児科	所長 医師 小児科	医師 小児科	医師 整形外科	医師 耳鼻咽喉科	医師 精神科	医師 眼科	理学療法士（PT）	作業療法士（OT）	言語聴覚士（ST）	公認心理師（CPP）	視能訓練士（ORT）	看護師	臨床検査技師	放射線技師	保育士	医療クラーク・医療ソーシャルワーカー	医療事務	所長	保育士・児童指導員（児発管含む）	看護師	管理栄養士 ※障がいの者通所部兼務	調理員	運転手	保育ヘルパー	所長	生活支援員（サビ管含む）	看護師	管理栄養士 ※障がいの児通所部兼務	調理員	運転手		
市派遣	1	1	1	1																															
正職										3	4	3	5	1	1				1			14	2								7	3	1		
契約																1			2			3	1							1					
嘱託												1						1			1	10								5	3		1	5	
再雇用																													1						
派遣																			3																
臨時																	1					2			1									1	
非常勤					2	1	2	1	2																										
合計	1	1	1	1	2	1	2	1	2	3	4	4	5	1	1	1	1	1	3	3	1	29	3		3	4	2	1	13	6	1	1	1	6	
3				36																	42					28									

所 属	宮崎市総合発達支援センター							児童館 放課後	老人センター 老人いこい	本部事務局			合 計			
	地域生活支援部															
職 種	所 長	相 談 支 援 専 門 員 （そ う だ ん お お ぞ ら）	相 談 支 援 専 門 員 （そ う だ ん す び か）	子 育 て 相 談 員	医 療 的 ケ ア 児 等 コー デ イ ネ ター	公 認 心 理 師	事 務 職 員	児 童 館 ・ 児 童 セ ン ター 館 長	児 童 厚 生 員 ・ 児 童 支 援 員	老 人 施 設 館 長	老 人 施 設 事 務 職 員	老 人 施 設 保 健 師 （ 看 護 師 ）		事 務 局 長	事 務 局 次 長	事 務 職 員
	市派遣													1		
	正職	1	4	2	2	1	1									4
	契約										1					
	嘱託							1	13	35	4	3		1	1	6
	再雇用															
	派遣								2							
	臨時								32							1
	非常勤															
合 計	1	4	2	2	1	1	1	13	69	4	4	1	1	1	11	
	12							82		9			13			

225														
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	役員等						合計
	評議員	理事			監事	評議員選任・解任委員会委員 ※監事再掲	
		理事長	常務理事	その他理事 ※センター所長再掲			
常勤		1	1				2
非常勤	9			5	2	4	20
							0
合計	9	1	1	5	2	4	22
		7					

5 部門別事業報告

法 人 本 部

重点目標・施策に対する実績

(1) 【中期経営計画の遂行】

令和8年度から5年間の次期中期経営計画策定に向け、現計画の検証及び次期計画の準備を行いました。また、指定管理についても令和7年度が最終年度となり、令和8年度から5年間の新たな募集に合わせた予算や人員体制について各部門と協議・調整を行いました。

【事業整備と環境構築】

宮崎市総合発達支援センターDX 環境整備事業により導入した電子カルテ、リハビリシステム、福祉システム等の運用の定着化を図りました。

(2) 【事業計画の執行】

- ① 部門長会を毎月開催し、事業計画の実現に向け、進捗管理や課題等について協議を行いました。
- ② 児童厚生施設、放課後児童クラブ、老人福祉センター等において、館長会等で、事業運営に関する助言・指導の他、実践状況などの管理の徹底を図りました。

(3) 【事務事業体制の見直し】

- ① 利用者ニーズの多様化・高度化に対応するため、職員指導や研修等をこまめに行い、職員の専門性の向上を図るとともに、業務の整理・見直し及び専門職の採用を行うことでより安心・安全なサービスの提供ができるよう職場環境の改善を図りました。
- ② 令和6年4月に児童福祉法の一部改正が施行され、児童発達支援センターが、地域における障がい児支援の中核的な役割を担うことが明文化されたことに伴い、当センターの役割についても見直しを進め、市より示された、「外来相談機能の強化」「障がい児通所部（すびか）の改編」「障がい児通所部（すびか）地域支援チームの新設」の方針のもと運営体制の再構築に取り組みました。
- ③ 電子カルテ、リハビリシステム、福祉システム等を活用し、事務の効率化に取り組みました。また、Wi-Fi 環境の整備により、ペーパーレス化やデータによる情報共有を推進しました。

(4) 【職員処遇の改善・充実】

- ① 研修委員会を設置し研修内容の検討を行いました。年間予定に基づき、事業団の成り立ちや福祉制度に関する研修会の他、階層別のハラスメント防止研修や新人職員を対象としたプログラムを実施しました。
- ② 育児・介護休業等に関する規定や旅費規程の改定を行いました。
- ③ 人事院勧告に基づき正職員・契約職員・嘱託職員の給与表の見直しを行いました。
- ④ 職員の申告書をもとに業務の内容や異動希望、職場環境等について面談による聞き取りを行い、働きやすい職場づくりの推進に努めました。

- ⑤ 勤怠システムにより、時間外労働や年次有給休暇の取得の適正化に努めました。

(5) 【危機管理体制の充実】

- ① 業務継続計画（BCP）に基づいた各部門の研修・訓練を実施しました。
- ② 個人情報保護や情報セキュリティの体制や責任者等を決め、リスク管理体制を整えました。

宮崎市総合発達支援センター

【 診 療 部 】

重点目標・施策に対する実績

(1) 【受診時期の適正化】

- ① 医師の勤務体制変更と専門医取得研修のために診察枠が減少。初診待機期間は約5～6カ月となりました。
- ② 受診前の家族に対する相談支援を公認心理師、言語聴覚士が行いました。

(2) 【関係機関との連携強化と各種ニーズに応じた事業の推進】

- ① 宮崎市保健所のすこやかひろば担当職員との運営会議、健診検討会への参加、公認心理師、理学療法士、作業療法士による学校支援、作業療法士や公認心理師を支援者向け講演会に講師として派遣するなど、地域との連携強化を図りました。
- ② 5歳児健診事業の開始に向け、健診及び事後相談に関する協議を宮崎市と行いました。

(3) 【地域への情報発信】

ホームページで専門職による分かりやすい発達支援の情報を発信するため「ST だより」「OT だより」にご家族等に役立つコンテンツを掲載しました。

○相談・調整業務

1) 来所・電話等内訳

(年間累計件数)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
来 所	387	374	358
電 話	632	583	626
そ の 他	0	0	0
合 計	1,019	957	984

2) 内容内訳

(年間累計件数)

項 目	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
診 療 予 約	353	362	373
初 診 時 面 接	312	326	291
医療・福祉支援等	177	118	177
他 機 関 ・ 施 設	93	88	74
学 校 生 活	32	18	6
家 庭 生 活	22	14	13
地 域 生 活 支 援	31	31	37
そ の 他	0	0	93
合 計	1,019	957	※1,064

※ 6 年度より内容別に複数計上

3) 経路内訳

(年間累計件数)

項 目	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
医 療 機 関	169	131	144
保 健 所	261	293	280
児 童 相 談 所	3	3	7
学校（教育機関含む）	37	36	76
保育所・幼稚園等	62	109	112
福 祉 施 設	116	94	84
テ レ ビ ・ 新 聞 インターネット等	105	76	64
知 人 ・ 親 の 会	17	24	18
利 用 者	246	182	180
そ の 他	3	9	19
合 計	1,019	957	984

担当業務別の重点施策の実施状況

【 外 来 】

(1) 【特殊外来における課題解決】

「精神科」・・・診察時間の調整等を行い必要な診察枠を確保しました。

「整形外科」・・・予約枠の調整や職員間の連携により、待機期間の短縮や診察時間の効率化を図りました。

「耳鼻咽喉科」・・・一般の医療機関に受診が困難な方(障がい者施設の方など)の診察・処置を行いました。

「眼科」・・・視能訓練欄に記載。

(2) 【診療の効率化】

電子カルテを適切に運用するためのマニュアル作成に取り組みました。

(3) 【新たな支援への取り組み】

肢体不自由児者に対して、生活環境に合わせた移動の自立を実現するため、最新の移動支援機器に関する説明と試乗会を実施しました。

(年間累計人数)

項 目		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
発 達 外 来	初 診	307	319	282
	再 診	10,353	10,642	10,462
整 形 外 科	初 診	0	0	0
	再 診	264	254	258
精 神 科	初 診	0	0	0
	再 診	122	106	107
耳鼻咽喉科	初 診	0	0	0
	再 診	16	33	62
耳鼻咽喉科 (難 聴)	初 診	28	59	18
	再 診	188	195	244
眼 科	初 診	2	0	0
	再 診	312	272	265
	初 診	337	393	300
	再 診	11,255	11,502	11,398
合 計		11,592	11,895	11,698

【視能訓練】

(1) 【眼科外来での対応の検討】

今年度は転院・終了が16名でした。学齢期の患者の地域への紹介を行い待機期間も1～2か月へ短縮し診察時間に余裕を持たせることができました。また、検査機器の更新も行い、検査の幅を広げることができました。

(2) 【検査技術、知識の向上】

小児眼科や神経眼科に関すること、発達障がい児への検査の対応方法、3歳6か月児健診での視覚検査についての研修に参加し、知識を深めることができました。

(3) 【他の機関と連携強化】

- ① 宮崎大学医学部付属病院から経過観察依頼があった患者に、視覚補助具などの紹介や学習におけるアドバイスを行いました。
- ② 宮崎大学医学部附属病院と併行で通院している方の情報提供や検査の練習を行い、連携を図りました。
- ③ 宮崎市保健所の3歳6か月児健診に、視能訓練士を派遣しました。
- ④ 他医療機関へ診療情報提供書を記載する際、特性や検査方法、対応の工夫を記載し、発達障がいの啓発に努めました。

(年間累計人数)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評 価	63	54	62
訓 練	487	468	440
合 計	550	522	502

【理学療法】

（１）【職員の資質と支援技術の向上】

- ① 宮崎県理学療法士会と協働で研修会や連携会議を行い、専門職種での連携強化を図りました。
- ② 施設外研修への参加（１３回）や、各自で取得した認定資格の更新など自己研鑽に努め、支援技術の向上を図りました。

（２）【支援センター内および関係機関との連携】

- ① 児童発達支援センターすぴか及び指定生活介護事業所宙での姿勢運動支援充実のため、補装具の調整や備品の共有、ポジショニングシート作成への助言を実施しました。
- ② 地域生活支援部の要請に応じて訪問指導や住宅改修に関する相談支援を実施しました。
- ③ 保健、医療、福祉、教育機関と連携し、学童期の事例に対する支援の充実を図りました（訓練場面での情報共有、電話やメール等による情報共有、支援会議への参加、学校主催のケース会議への参加）。

（３）【医療的ケア児等への支援に関する取り組み】

- ① 「宮崎県医療的ケア児等支援者養成研修」の講師として『日常生活支援（リハビリテーションと遊び）』をテーマに講義を担当しました。
- ② 「宮崎県医療的ケア児等コーディネーター養成研修」の講師として『医療的ケアが必要なこどもたちの発達支援について』をテーマに講義を担当しました。
- ③ 医療的ケア児等支援事業へ協力し、関係機関との情報共有や訪問による相談支援を実施しました。

（４）【補装具の使用貸借事業について】

事業運用を見直し、新たな実施要領の作成に取り組みました。

（年間累計人数）

項 目	令和４年度	令和５年度	令和６年度
訓 練 (評価含む)	2,639	2,621	2,399

【作業療法】

(1) 【ニーズに応じた作業療法支援体制の構築】

- ① ニーズに対応した支援を計画し、目的別生活支援を行いました。
- ② グループ支援や外部での支援について、綿密な打ち合わせや調整を作業療法士職員間で行うと共に、支援に関するノウハウ共有を行いました。
- ③ 各職員が資質向上のため、学会、研修会へ参加しました。

(2) 【支援センター内および地域の関係機関との連携強化】

- ① 児童発達支援センターすぴか及び指定生活介護事業所宙利用者に対し、各部門での支援に加え、作業療法室を使用した活動を両部署職員と共に行い、利用者への支援と職員間の情報伝達を行いました。また、宙利用者に対し、多職種で検討を重ね「ポジショニングシート」の作成に結びました。
- ② 4か所の公立保育所で「遊びの研修」を行い市の保育士との連携強化に努めました。
- ③ 宮崎市保健所のすこやかひろばで専門的指導や 跡江保育所での親子通園で保護者勉強会及び保育所職員への研修を行いました。また、みなみのかぜ支援学校教職員の専門性向上研修会、地域保健課保健師研修会で講話を行いました。

(3) 【作業療法ノウハウの対外的な情報発信】

ホームページに、家庭でも実践できる情報を掲載したコラム「OT だより」を掲載しました。

(年間累計人数)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訓 練 (評価含む)	1,811	1,964	1,850

【言語聴覚療法】

(1) 【受診前の家族に対する新たな相談支援の検討】

- ① 言語面（吃音など）を主訴とする初診前の相談支援を行いました。
- ② 各スタッフが相談支援の資質向上のため、学会・研修会へ22件程参加しました（web参加を含む）。また部署内での研修会を繁忙期の11月まで定期的に行いました。

(2) 【関係機関との連携強化と各種ニーズに応じた事業の推進】

- ① 指定生活介護事業所宙での職員の食事に関する疑問の解消や解除方法、食形態の見直しなど直接的な支援を満実させる目的で、利用者の食形態や食事介助方法の協議検討を実施しました。
- ② 宮崎市内小児言語聴覚士で“就学後のST支援”のテーマ意見交換会を実施し、情報共有と地域のニーズに合った支援のあり方を検討し連携強化を図りました。
- ③ 宮崎市保健所のちびっこランド8回、すこやかひろば18回、職員を派遣しました。
- ④ 難聴児への支援に関しては、宮崎大学医学部附属病院難聴支援センター主催の難聴児支援会議や宮崎県立都城さくら聴覚支援学校主催の研修に参加し聴覚支援学校の先生方とケース情報の共有の機会を設けました。

(3) 【地域への情報発信】

ホームページ上でことばの育ちが気になる保護者の向けにことばの発達に関する情報発信を行いました。

(年間累計人数)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訓 練 (評価含む)	1,736	1,743	1,643

【心理療法】

(1) 【受診前の相談支援の拡充】

初診待機中の相談支援として「受診前の家族面談（こあら）」を外来スタッフや地域生活支援部と連携しながら実施しました（宮崎市発達障がい児等早期相談強化支援事業）。

(2) 【センター内外の機関との連携を強化する】

- ① 宮崎市と連携し、宮崎市保健所でのすこやかひろばへ職員を派遣し、専門的な助言を行いました。また、母子地域ケア会議で、発達支援に関する講義を行いました。
- ② 宮崎県立看護大学の大学院生を対象に、地域の母子ケアシステムに関する講義を行いました。
- ③ 教育機関との連携として、宮崎市就学相談委員会への出席、上級特別支援教育コーディネーター養成研修の講義、学校支援アドバイザー派遣事業への講師派遣を行いました。
- ④ 学童期への間接支援として、コロナ禍前に実施していた「医療と教育の合同カンファレンス」を4年ぶりに主催し、実践的なスキルの共有を図りました。
- ⑤ 児童発達支援センター『すぴか』職員とのカンファレンスを行うとともに、専門的支援を開始し、心理的な視点を持った支援を行いました。

(3) 【職員の資質向上と心理支援体制の強化】

- ① 心理職研修会へ参加し、支援スキルの向上と近接領域の心理士との連携を図りました。
- ② 利用者の細かなニーズに応じることを目的に、保護者向けの勉強会「テーマ別講座（就労、不安タイプの子育て、メディア）」を実施しました。また、新しい取り組みとして、本人への心理教育を目的としたグループ講座を行いました。
- ③ 改定された新しい検査法（田中ビネーVI）を導入しました。また、ストレスに対する新しい心理援助技術を用いたセッションを行いました。
- ④ 心理室の観察用カメラをデジタル化し、検査の様子をリアルタイムで医師と共有できるようにしました。

(年間累計人数)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評 価	1,325	1,196	763
訓 練	1,142	1,283	1,678
合 計	2,467	2,479	2,441

【 障がい児通所部 】

『児童発達支援センター すぴか』 重点目標・施策に対する実績

(1) 【家庭と連携した療育体制づくり】

- ① 個別指導計画の作成とその見直し（6か月ごと）を行い、実態に即した計画作成を行いました。また、年3回の個別面談、必要に応じて保護者面談を行いました。
- ② 親子保育（毎週金曜日）及び各種行事、保護者学習会においては、5月「就学ガイダンス」、6月以降「支援学校見学会、地域小学校支援級見学引率」、7月「卒園児保護者の話を聞く会」「防災講演（父母の会主催）」を行いました。
- ③ 児童発達支援事業所評価保護者アンケートを行い、「支援満足度」については以下のような結果となりました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業所の支援満足度	96%	100%	94%

- ④ 親子で参加した年間行事を以下のとおり行いました。

月	行事名	内 容	人 数
5	春の親子遠足	親子保育 (フェニックス自然動物園)	68
7	夏祭り	親子保育 夏ならではの遊び場所の提供	110
10	うんどう会	かけっこやリズムなどを発表。 (宮崎市立憶北小学校体育館)	150
12	おたのしみ会	見る事、聴くことを中心に子ども、保護者参加型で楽しめる会	82
3	お別れ遠足	親子遠足 (フローランテ宮崎)	89
	卒園式	卒園児：20人	84

(2) 【診療部や教育機関と連携した療育】

- ① 診療部職員が定期的に保育や食事場面に参加し、支援方法（発達支援・家庭支援）について、以下のとおり協議・連携を行いました。

指導の形態	頻度	連携したセラピスト
グループ別専門的支援	各グループ 月5回以上	理学療法士、作業療法士、 言語聴覚士、認定心理士
摂食指導	随時	言語聴覚士

- ② 作業療法士と連携し、作業療法訓練室での活動を行いました。
- ③ 就学を迎える児童を対象に各支援学校等への引継ぎを行いました。
(みやざき中央・みなみのかぜ・清武せいりゅう・赤江まつばら・本郷小学校)

(3) 【安全・危機管理に関すること】

- ① 遊具や保育環境の点検を毎月行い、危険個所の修繕を行いました。
- ② 毎月、ヒヤリハット・事故報告書を作成し、事故の発生要因の分析を行いました。
軽微な事故も報告対象とし、重大事故の発生予防に努めました。
- ③ 支援センター内の各部門と連携し防災委員会の充実を図りました。
- ④ 月1回、緊急時想定訓練を行いました。(地震、津波、火災想定、アレルギー、バス訓練【事故後、救急車要請訓練】、不審者対応、リスクマネジメント・気管切開など)
- ⑤ チェックリストを使いバス送迎時の安全管理の徹底や、送迎バス車内に置き去り防止など、安全管理体制の整備を行いました。

(4) 【地域資源（場所・他施設）との関係促進】

- ① 園外保育で公共等の施設を利用する機会を設けました。
- ② 勤労感謝の日になみ地域の関係者と連携し、ポイントカードとお菓子を交換。家族の方にプレゼントして感謝の気持ちを伝える体験をしました。
- ③ 近くの児童館での活動体験を行いました。
- ④ 地域の公立保育所と連携して、交流保育を行いました。

(5) 【職員のスキルアップに関すること】

- ① 内部研修として、発達、医療、障がいの理解などについて学習会や研修報告会を行いました。(10月には外部講師を招き保育の在り方研修、3月にセンター長による、将来豊かな社会生活を送るための発達支援についての研修)
- ② 1月に障がい者虐待防止・権利擁護について職員研修を行いました。

(6) 【地域資源（研修、実習）との関係促進】

- ① おおぞらセミナーを開催し、児童発達支援事業所や支援学校等に対して障がいを持つ子どもの理解に関する研修を行いました。
- ② 年間を通して実習生の受け入れを計画しました。宮崎県主催の保育体験研修や宮崎市公立保育所医療的ケア保育体験研修を行いました。

○グループ編成 [令和6年3月（卒園及び転園前の在籍児数）]

(単位…名)

クラス名	人 数	職員体制
た い よ う	9	5
に じ	9	4
ぎ ん が	9	6
ほ し	8	5
か ぜ	5	4
合 計	40	24

*他、主任2名 看護師3名 給食保育ヘルパー2名

【 障がい者通所部 】

【指定生活介護事業所 宙(そら)】 重点目標・施策に対する実績

(1) 【利用者の生活の質の向上】

- ① 令和6年度より受給者証の更新月に合わせた個別支援計画の作成を行いました。アセスメントや保護者対象の個別面談等(Zoom 面談希望者含む)を行い、個々の利用者ニーズを把握し、支援を提供するよう努めました。
- ② 生活の中に楽しみが持てるよう、季節を通じた様々な日中活動を提供しました。制作活動や楽器演奏の際、利用者の実態に応じて目と手の協応が難しい方には鏡を使用して手元が見られるようにしたり、手指を自発的に動かせる方には自在棒や譜面台を活用したりして、素材や道具を工夫しながら支援しました。
- ③ 希望者に対して、科学技術館、県立美術館、イオンモール宮崎、フローラン等、公共施設や商業施設への外出の機会を提供しました。仲間や職員と普段の生活とは違う空間を体験することで、いつもとは違う表情がみられました。また、社会生活の幅が広がる機会にもなりました。
- ④ オカリナコンサートとしてボランティアを受け入れ、オカリナの生演奏を鑑賞し、本格的なオカリナの音色に触れる機会を設けました。また、今年度はフラダンスのボランティアも新たに受け入れ、華やかな衣装で優雅に踊る姿を興味津々に鑑賞されていました。

(2) 【職員の専門性向上】

- ① 重度の障がい者への支援に対応できるよう、職員指導や職場内研修を毎月行い、職員の意識向上や資質向上を図りました。また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの予防に関する職場内研修を行い、感染防止対策に取り組みました。
- ② 診療部の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士から支援に関する指導や助言を受け、職員の技術向上を図りながら統一したケアを行いました。また、普段の活動においても、トランポリンやオーシャンスイングの活動に専門職が入ることで活動の幅が広がり、利用者も表情良く楽な姿勢で活動を楽しむことができました。

(3) 【医療的ケアの充実】

- ① 利用者の健康状態を常に把握し、利用者に応じた適切な処置や医療的ケアを行い、健康管理に努めました。
- ② 新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症拡大防止のため、利用者及び職員の体調管理(体温、必要時は抗原検査の実施)、室内換気及び消毒の徹底に努めました。また、看護師による感染対策の勉強会を行いました。

(4) 【適正な運営】

虐待防止、身体拘束の適正化、BCP、感染症予防・蔓延防止対策の各委員会を開催し、その後職員へ向けての研修を毎月行いました。嘱託職員についてはZoomでの参加や、別日に設定することで全員が研修に参加できるよう配慮しました。

○ 主な年間行事

月	行 事 名	内 容	人 数
4～3	音楽会(年4回)	・ 季節ごとの音楽会を計画、四季折々の歌や音楽、楽器演奏を行う	291
5	さつきウィーク	・ 利用者の作品展示	89
6	フラダンス	・ ボランティアによるフラダンスを実施 ※保護者の参加あり	19
7	七夕 縁日	・ 短冊の飾り付け ・ 縁日ならではの雰囲気を楽しむ (スイカ割り、ヨーヨー釣り、かき氷等) ※飲食は保護者了承のうえ実施	89
10	スポーツウィーク	一週間を通し、様々なスポーツを体感する(ゴルフ、ボッチャなど)	82
11	オカリナコンサート	・ ボランティアによるオカリナコンサートを実施 ※保護者の参加あり	17
12	おたのしみウィーク、 もちつき	・ 今年一年を振り返りながら、出し物や楽器演奏を 観て楽しむ ・ 昔ながらのもちつきを見て、餅に触れる	84
1	新春ウィーク	※予定していたが職員調整が難しい為実施できず。	—
2	節分 調理活動	・ 豆まき ・ お菓子(チョコカップケーキ)作り	91
3	ひなまつり	・ お茶会、絵合わせカードや歌、絵本を楽しむ	14

【 地域生活支援部 】

【そうだんサポートセンター おおぞら】

【宮崎市そうだんサポートセンター すぴか】

重点目標・施策に対する実績

(1) 【地域の相談支援の中核的な役割】

宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターとして、障がい種別に関係なく、当事者、保護者、支援者等からの総合的な相談に応じました。

(2) 【専門性の高い（複雑困難な）事例への対応】

- ① 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターとして、養育困難や生活困窮、虐待等の複雑困難な事例や高い専門性を必要とする事例への対応を行いました。
- ② 障がい児相談支援体制を推進し、児童が健やかに育つ環境が整うよう関係機関、事業所及び行政との連携に努めました。

(3) 【計画書作成担当事業所の紹介・案内】

利用者や市・関係事業所からの相談に応じ、サービス等利用計画書や障がい児支援利用計画書を作成する指定相談支援事業所の紹介・案内を行いました。

(4) 【他の指定相談支援事業所への助言】

- ① 宮崎市の相談支援体制の強化を図る取り組みとして、他の指定相談支援事業所に対して専門的な助言等を行いました。
- ② 他の指定相談支援事業所が抱える困難事例等に同行するなど、後方支援を行いました。

(5) 【研修の企画・開催】

宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターの役割である「地域の相談支援体制の強化」を図るため、指定相談支援事業所や各種サービス提供事業所を対象に研修を行い、地域の人材育成に努めました。

(6) 【療育に関する相談支援】

- ① 家庭や地域の施設を訪問し、障がい児（発達的气になる子ども）やその家族に対する療育相談を行う巡回相談事業で、子育て支援センターの巡回相談を増やし支援強化を図りました。また、障がい児（発達的气になる子ども）が通所する施設を訪問し、職員に対する助言等を行いました。
- ② G S V（グループスーパービジョン）の手法を取り入れた施設支援を行うことで、保育所、幼稚園等の発達支援に係る技術向上を図りました。

(7) 【宮崎市自立支援協議会との連携強化】

- ① 宮崎市自立支援協議会の「子ども支援部会」「医療的ケア支援部会」の事務局を担うとともに、その他部会の会議にも積極的に参加し、障がい児者を取り巻く課題を関係機関と共有するために、各部会の運営を支援しました。
- ② 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターの業務を各部会に周知し、地域の障がい児者等の支援体制を充実するため、関係団体等との協力体制の構築に努めました。

(8) 【医療的ケア児等の相談支援体制の強化】

- ① 宮崎市等の医療的ケア児及びその家族を地域で支えられるよう、他の宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターとの連携を図りながら、福祉や教育、医療にまたがる相談支援体制の構築に努め、他の指定相談支援事業所の相談支援専門員への助言や情報提供を目的とした事例検討会及び研修会を企画開催しました。
- ② 宮崎県医療的ケア児支援センターとの連携を強化し、医療機関から退院する際の早期相談支援体制構築のための検討を行いました。

(9) 【関係機関等との連携強化】

- ① 各種事業を円滑に進めていくために、市町村福祉担当課、市町村教育委員会、児童相談所、医療機関など、関係機関や事業所との連携強化を図りました。
- ② 宮崎市や他の宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターと連携・協働し、指定相談支援事業所に対する事業所訪問やモニタリング検証の実施に向けた検討等を行い、相談支援体制のより一層の強化に努めました。
- ③ 「宮崎市民生委員児童委員協議会」、「中学校区特別支援教育連絡会」などに出席し、地域の教育、福祉と家庭との連携を推進しました。
- ④ 宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会（MSR）が主催する会議や研修会等の運営に協力し、障がい児者の相談支援体制の強化に努めました。

(10) 【宮崎市総合発達支援センター診療部及び通所部との連携強化】

- ① 増加する子どもの発達に関する相談に対応するため、幅広い知識と専門スキルを持った診療部、児童発達支援センター『すびか』による地域事業所の育成・指導のコーディネート業務等の推進について検討を行いました。
- ② 発達障がい等の診断を受ける前の期間に障がい児やその家族の不安解消を図るため、診療部と連携し、早期相談事業を実施しました。

- 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターにおける相談支援、療育等支援、巡回支援等の実績

(年間件数)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
障がい者相談支援事業		2,418	2,851	2,693
療育等 支援事業	訪問療育	11	6	6
	外来療育	138	24	30
	施設支援	10	33	21
巡回支援専門員整備事業		254	169	243
合 計		2,831	3,083	2,993

○ サービス等利用計画書及び障がい児支援利用計画書の作成件数
(年間件数)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
サービス等利用計画書	新規・更新・変更	81	57	47
	モニタリング	37	28	11
障がい児支援利用計画書	新規・更新・変更	205	190	157
	モニタリング	101	87	44
合 計		424	362	259

○ 障がい児支援利用計画書の作成件数
(宮崎市そうだんサポートセンターすぴか)
(年間件数)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
障がい児支援利用計画書	新規・更新・変更	50	62	69
	モニタリング	39	54	40
合 計		89	116	109

重点目標・施策に対する実績

(1) 【快適性・利便性の向上と、効果的な広報活動を展開する】

- ① ホームページでイベント等の案内の掲載、インスタグラムで動画発信するなど積極的な広報活動に努め、利用促進を図りました。
- ② 館だよりを小学校のマチコミメールで配信し、積極的な情報発信に取り組みました。

(2) 【児童健全育成拠点施設としての取組みの強化】

- ① 中高生の居場所づくりとして、過ごしやすい環境を整えるよう努めるほか気軽に音楽を楽しむことができるように電子ドラム等の楽器に触れることのできる日を定期的に設け利用の促進を図りました。
- ② 木工や絵画、陶芸など地域の経験者を招き、様々な講座を実施し、物づくりの楽しさや創造性の育成を図りました。
- ③ インセンティブ事業として、外部講師を招き、協力してミュージカル制作を行い、家族や地域の方々に披露しました。また、音楽バンドの結成や発表を行い、子どもの豊かな感性や創造性の育成を図りました。
- ④ 児童主体のクラブ活動を行い異年齢との交流や地域との連携を深めました。
- ⑤ 高校生と乳幼児のふれあい交流事業を行いました。

(3) 【子育て支援拠点施設としての取組みの強化】

- ① 乳幼児親子の交流や仲間づくりを支援するために、子育て交流ひろばの開催やクッキングやヨガなどの親子講座を実施しました。
- ② 父親の来館促進等を目的に日曜開館に取り組みました。
- ③ 父親育児参加を推進する取組みとして、遊具遊びやスポーツ等の父親が参加しやすい行事を実施しました。
- ④ 新一年生児童館体験事業として、各館とも幼稚園や保育所の年長児童や保護者を児童館に招待し、児童館の体験活動を行いました。

(4) 【地域特性を考慮したサービス提供の取組みの強化】

- ① 地域に伝わる舞踊を体験・披露する機会や、地域の講師による茶道教室を定期的に実施し、伝統文化に触れる機会を設けました。
- ② 季節の行事を通し、地域と連携した事業に取り組みました。

(5) 【高齢者の経験を活かした世代交流事業の促進】

地域の高齢者の知恵や経験を活かした講座や季節の伝統行事、世代間交流事業に取り組みました。

(6) 【統括マネージャーの配置による児童館の機能強化と安全確保】

- ① 統括マネージャーによる巡回を行い、安全な環境づくりへの助言や児童の見守りをする職員の配慮や関わり方への指導を行いました。
- ② 年間の実施事業の振り返りや、次の事業の計画に対する的確な評価、指導を行うことで、児童健全育成のためのより効果的な事業展開を行えるように取り組みました。

○児童館・児童センター 利用者数

(単位:人)

館 名	令和 6 年度					令和 5 年度	令和 4 年度
	幼 児	小学生	中高学生	保護者他	合 計		
霧島児童館	1,039	9,801	525	1,551	12,916	12,461	10,670
恒久児童館	972	7,357	44	1,044	9,417	11,017	8,587
栄町児童館	1,947	8,295	357	2,787	13,386	11,375	8,981
大島児童館	1,544	5,863	174	1,746	9,327	8,002	5,312
倉岡児童館	679	3,014	211	738	4,642	4,217	3,408
本郷児童館	933	12,133	335	938	14,339	13,946	10,801
大塚台児童センター	694	2,722	598	798	4,812	5,011	4,838
西原児童センター	3,635	3,239	115	3,032	10,021	8,936	6,569
平和が丘児童センター	1,103	4,670	254	1,372	7,399	6,726	6,241
櫛児童センター	2,474	7,372	363	2,319	12,528	9,834	7,392
木花児童センター	1,343	12,011	126	1,247	14,727	14,022	11,626
大塚児童センター	3,573	6,751	399	3,333	14,056	13,322	10,064
合 計	19,936	83,228	3,501	20,905	127,570	118,869	94,489

【注 1】 令和 6 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館なし

児童クラブ、巡回児童館、ハロー・キッズルーム

重点目標・施策に対する実績

(1) 【児童の発達過程を踏まえた育成支援】

子どもの発達段階に合わせたあそびやスポーツを取り入れたほか、自然や文化に触れる活動や、季節のイベントなど多種多様な企画を実施しました。

(2) 【児童の社会性、創造性を育む活動の充実】

- ① 異年齢交流やゲーム等のレクリエーションによる社会性や創造性を育む活動に取り組みました。
- ② SDG s を意識した取り組みとして、リサイクル肥料を使用したトマト、ピーマン、芋の栽培・収穫体験や牛乳パックを使った工作を行いました。

(3) 【安全安心な環境づくり】

- ① 防犯講座の実施や不審者対応訓練、災害発生時の訓練を実施しました。
- ② 1日1回の安全点検（遊具・施設設備等）を実施しました。

(4) 【学校との連携強化】

毎月、各学校訪問を実施し、クラブでの児童の様子を学校に伝え情報交換を積極的に行うとともに、クラブ便りの配布を行いました。

- 倉岡児童クラブ、倉岡第二児童クラブ、住吉児童クラブ、住吉第三児童クラブ、巡回児童館、ハロー・キッズルーム 利用者数
(単位：人)

事業名	令和6年度	令和5年度	令和4年度
倉岡児童クラブ	1,402	2,537	1,791
倉岡第二児童クラブ	8,274	9,183	8,108
住吉児童クラブ	13,528	13,023	13,457
住吉第三児童クラブ	7,303	6,329	5,282
巡回児童館（1号車・2号車）	7,539	7,516	6,514
ハロー・キッズルーム	14,108	14,544	10,225
合 計	52,154	53,132	45,377

※倉岡児童クラブ、倉岡第二児童クラブ、住吉児童クラブ、住吉第三児童クラブについては、令和6年度で受託終了。

老人福祉センター・老人いこいの家

重点目標・施策に対する実績

(1) 【快適性・利便性の向上と、効果的な広報活動を展開する】

- ① 職員の接遇・マナーの向上と清潔な施設提供に取り組みました。
- ② 利用者に分かりやすい施設案内表示やパンフレットの提供に取り組み、リニューアルしたホームページを更新、施設だよりを近隣の自治会や老人クラブ等へ積極的に配付するなど広報活動を行いました。

(2) 【健康づくり機能の強化】

県出前講座「歯と口の健康づくり」、近隣病院のトレーナーによる介護予防運動、健康運動指導者による健康体操など高齢者の健康寿命の延伸を目的に事業の充実を図りました。

(3) 【生きがいづくり支援の強化】

- ① アクティブシニアを創出するため教養講座（笑いヨガ、骨盤ストレッチ、リラックスヨガ、スローエアロビ、フラダンス）などの高齢者が知識・技術を習得するための人気教養講座を展開しました。
- ② 地域の子供たちと一緒にボランティア活動として広場のゴミ拾いを行ったほか、折り紙制作など季節の作品を展示コーナーに展示し、展示コーナーのさらなる充実を図りました。

(4) 【地域との協働】

新規利用者の獲得のため、近隣公民館に出向いて出張老人福祉センター（看護師による健康相談、地域包括ケア推進課指導員による健康体操等）を開催しました。

(5) 【就労機能の強化】

宮崎市シルバー人材センターとの協働による就業相談会を開催しました。

(6) 【相談業務の充実】

- ① 高齢者の疾病予防等を目的に、毎月 1 回全施設で看護師による健康相談・健康講座を実施しました。
- ② 看護師による利用者からの日常的な生活相談、歩行時の姿勢指導や検査データに基づいた食事指導、検査データの説明、個々の相談に応じ個々に寄り添った対応を行いました。

○ 老人福祉センター・老人いこいの家利用者数

(単位：人)

施設名	令和 6 年度			令和 5 年度	令和 4 年度
	男	女	合 計		
南部老人福祉センター	14,008	17,478	31,486	27,018	20,159
赤江老人福祉センター	6,131	11,623	17,754	16,199	13,832
跡江老人いこいの家					
住吉老人いこいの家	270	4,282	4,552	4,387	3,657
古城老人いこいの家	1,486	1,615	3,101	8,238	7,700
合 計	21,895	34,998	56,893	55,842	45,348

【注】跡江老人いこいの家は 3 年度末で閉館

○ 各種サークル参加人数

(単位：人)

サークル	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
囲 碁	3,065	3,203	2,799
将 棋	151	96	0
舞 踊	3	0	10
茶 道	109	102	89
カラオケ	4,499	4,413	2,509
体 操	8,689	8,422	7,562
グランドゴルフ	4,237	4,463	4,049
まっこうほう 真向法 (ヨガ)	814	749	698
卓 球	2,917	2,630	2,294
その他	6,133	5,126	5,693
合 計	30,617	29,204	25,703

6 その他

(1) 実習生等の受入（宮崎市総合発達支援センター）

実習・研修項目	学校・団体名	人 数
診 療 ・ 療 育	宮崎大学医学部(宮崎市)	12
理 学 療 法	宮崎リハビリテーション学院(宮崎市)	1
理 学 療 法	九州看護福祉大学(熊本県玉名市)	1
理 学 療 法	都城リハビリテーション学院（都城市）	1
作 業 療 法	宮崎保健福祉専門学校（宮崎市）	1
ソーシャルワーク	九州医療科学大学（延岡市）	2
療 育	宮崎県立看護大学（宮崎市）	15
療 育	九州医療科学大学専門学校（延岡市）	42
療 育	宮崎市子ども未来部保育幼稚園課	2
療 生 活 介 護	宮崎市総務部人事課 宮崎市職員体験研修	2
特 定 相 談	合同会社 ゆらり（東諸県郡 国富町）	1
診 療	宮崎市健康管理部保健医療課 医師臨床研修	3
療 育	宮崎県幼児教育センター 幼児教育保育	20
療 育	宮崎国際大学（宮崎市）	1
合 計		104

令和5年度合計 195 人

(2) 職員の外部派遣（宮崎市総合発達支援センター）※主なもの

回数又は月 日	職名職種	派 遣 先	派遣内容
44 回	医師	宮崎市教育委員会	母子保健事業に係る医師等の派遣
6. 20	公認心理師	宮崎市教育委員会	宮崎市特別支援教育就学相談委員会
7. 19	公認心理師	宮崎市 健康管理 部 地域保健課	小戸地区地域ケア会議（母子）
7. 23	公認心理師	宮崎県教育庁 教 育推進	上級特別支援教育コーディネーター養成研修
7. 10/7. 23/8. 5	作業療法士	県立みなみのかぜ 支援学校	特別支援学校「自立と社会参加」推進事業
7. 30	サービス管 理責任者	宮崎県介護福祉士 会	自立支援のための介護実践研修
8. 21. 22	理学療法士	宮崎県精神保健福 祉協会	宮崎県医療的ケア児等支援者養成研修
10. 4	医師	宮崎県社会福祉協 議会	支援につなげる障がい理解研修
10. 10	理学療法士	宮崎県精神保健福 祉士協会	医療的ケア児コーディネーター養成研修
10. 11/12. 6	公認心理師	宮崎県立みやざき 中央支援学校	特別支援学校「自立と社会参加」推進事業
11. 2	医師	宮崎大学教育学部 附属中学校	入学者選考検査
12. 1/2. 9	医師	宮崎県医師会 地 域医療課	かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会
11. 28	公認心理師	宮崎県立看護大学	地域ケアシステム論演習
12. 6	視能訓練士	宮崎市役所 こども 未来部 親子保健課 幼児健康診 査係	3歳6か月健康診査の資格検査に関する意見交換会
12. 23	公認心理師	宮崎市健康保健部	江南地域ケア会議（母子）

2.10	作業療法士	宮崎市 健康管理 部 地域保健課	母子保健研修会
2.21	児童発達支 援管理責任 者	善仁会	宮崎県サービス管理責任者・児 童発達支援管理責任者実践研 修演習

(3) 職員研修 ※主なもの

①宮崎市総合発達支援センター

月 日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
5.7	通所部副所長 児童発達支援 管理責任者	オンライン	—	共主体の保育が生まれ る「環境作り」
5.24	通所部副所長 児童発達支援 管理責任者	オンライン (ZOOM)	—	保育×子ども
6.8～6.9	児童発達支 援管理責任 者・児発管	オンライン (ZOOM)	—	支援者を伸ばす実践セ ミナー
6.11	障がい児通 所部所長・副 所長	宮崎県福祉総合セ ンター	宮崎市	児童発達支援部会(障害 児通所支援)
6.18	保育士	宮崎県福祉総合セ ンター	宮崎市	宮崎県知的障害者施設 協議会 新任職員研修会
6.27	通所部所長	宮崎市市民文化ホ ール	宮崎市	計画相談支援・障がい児 相談支援に関する研修 会
6.29	保育士	アーカイブ動画配 信	—	発達障がい支援者基礎 講座
6.29	保育士	後日配信	—	全国職員研修会
7.6	保育士	オンライン (ZOOM)	—	発達障がい支援者幼児 期・学齢期スキルアップ 研修
7.23	障がい児通 所部副所長	宮崎観光ホテル	宮崎市	宮崎県知的障害者施設 協議会 管理者向け研 修会

7. 23	保育士	宮崎市民文化ホール	宮崎市	計画相談支援・障がい児相談支援
7. 29～8. 5 11. 11～ 11. 18	生活支援員	オンデマンド配信	—	サービス管理責任者等基礎研修
7. 29～8. 5 8. 27～8. 28 10. 4 11. 26～ 11. 27	公認心理師	オンデマンド配信・集合研修（ひなた武道館）	宮崎市	宮崎県相談支援従事初任者研修
7. 29～8. 5 8. 27～8. 28 10. 4 11. 26～ 11. 27	看護師	オンデマンド配信・集合研修（ひなた武道館）	宮崎市	宮崎県相談支援従事初任者研修
7. 26	言語聴覚士	県立都城さくら聴覚支援学校	都城市	聴覚障がい乳幼児の早期教育公開研修会
9. 3～9. 4 11. 6/12. 20	相談専門員	オンデマンド配信・宮崎県武道館	宮崎市	相談支援従事者現任研修
9. 19～9. 21	看護師	心身障害児総合医療療育センター療育研修所	東京都板橋区	重症障害児（者）医療看護師 講習会
9. 21	看護師	南宮崎駅前ビル	宮崎市	喀痰吸引指導者研修
10. 11	生活支援員、看護師	オンデマンド配信	—	全国重症心身障害日中活動支援協議会
10. 23	保育士	宮崎県福祉総合センター	宮崎市	合同研修会における会員について
11. 15～ 11. 16	サービス管理責任者	くにびきメッセ	島根県松江市	全国大会・第 22 回日本介護学会 in しまね
11. 16	看護師	南宮崎駅前ビル	宮崎市	喀痰吸引指導者研修
12. 2	サービス管理責任者	宮崎県福祉総合センター	宮崎市	宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護研修
12. 9	障がい児者通所部所長補佐	宮崎県福祉総合センター	宮崎市	宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護研修

2.5～2.6	発達支援管理責任者	宮崎県武道館	宮崎市	サービス管理責任者等実践研修
2.3～2.7	看護師	心身障害児総合医療療育センター	東京都板橋区	重度・重症児（者）医療・療育（基礎）講習会
2.20～2.21	障がい児通所部副所長他4名	動画配信	—	宮崎県福祉サービス苦情解決セミナー

②児童館・児童センター等

月 日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
5.9～ 5.10	児童館館長	宮崎東諸県広域防災センター	宮崎市	甲種防火管理者新規講習
5.31	児童館館長	お茶の水ソラシティカンファレンスセンター	東京都	全国児童館連絡協議会定期総会 児童健全育成推進財団会員総会及び健全育成セミナー
7.11	児童支援員	宮崎市市民文化ホール	宮崎市	宮崎県放課後児童支援員・児童厚生員等資質向上研修会（第1回）
7.11	児童厚生員	宮崎市市民文化ホール	宮崎市	宮崎県児童厚生員等資質向上研修会児童厚生員2級指導員履修認定科目
8.2	児童厚生員	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント防止研修一般職編
8.5	児童厚生員	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント防止研修一般職編
8.9	児童館館長	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント防止研修管理職編
8.19	児童館館長	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント防止研修管理職編
9.9	児童厚生員	宮崎市大塚児童センター	宮崎市	救命救急法

10. 7	児童厚生員	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	児童厚生施設における事故事例（統括マネージャー）
10. 23	児童厚生員	Web 開催	宮崎市	宮崎県放課後児童支援員・児童厚生員等資質向上研修会(研修 E 児童館論 I)
10. 23	児童厚生員	Web 開催	宮崎市	宮崎県放課後児童支援員・児童厚生員等資質向上研修会研修 F 児童館論 II)
12. 3	児童厚生員	宮崎市市民文化ホール	宮崎市	宮崎県放課後児童支援員・児童厚生員等資質向上研修会研修 G 地域福祉活動)
12. 3	児童厚生員	宮崎市市民文化ホール	宮崎市	宮崎県放課後児童支援員・児童厚生員等資質向上研修会研修 H 地域福祉活動)

③老人福祉センター、老人いこいの家

月 日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
7. 8	館長	宮崎市市民文化ホール	宮崎市	レジオネラ属菌汚染防止対策講習会
8. 5	事務員	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント防止研修一般職編
8. 9	事務員	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント防止研修管理職編
8. 19	館長	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント防止研修管理職編

④本部事務局

月 日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
4. 24	事務局長	宮崎市民プラザ	宮崎市	審査力向上等研修
9. 19	財務係長	宮崎市民文化ホール	宮崎市	社会保健制度講習会
9. 24	事務長	宮崎地区交流センター	宮崎市	檉地区「ささえ愛ネットワーク連絡会」
12. 9	総務人事係長・主任	オンライン (ZOOM)	—	「ハラスメント防止対策」「改正育児・介護休業法等」「フリーランス・事業者間取引適正化等法」
2. 28	財務係長・事務長 他3名	オンライン (Teams)	—	福祉サービス第三者評価の受審に関する研修会

(4) 避難訓練等の実施状況

①宮崎市総合発達支援センター

実施回数	訓練内容	参加人数
年 4 回	全職員及び通所利用児者を対象とした総合避難訓練（火災・地震を想定した避難訓練）	約 130 人／回
月 1 回	障がい児者通所部職員及び通所利用児者を対象とした緊急対応訓練	約 5 人／回

②児童館、児童センター等

実施回数	訓練内容	参加人数
月 1 回	火災等の避難訓練 ※机上訓練含む	約 3～52 人／施設

③老人福祉センター、老人いこいの家

実施回数	訓練内容	参加人数
年 2 回	火災等の避難訓練	約 2～43 人／施設

【別添資料】 令和6年度 宮崎市総合発達支援センター利用状況について(月別)

《診療部》

①相談・調整業務

ア. 来所・電話内訳

(単位 : 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
来 所	31	30	37	35	25	32	34	31	34	26	26	17	358	375
電 話	59	80	59	51	37	44	57	52	44	50	48	45	626	582
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	90	110	96	86	62	76	91	83	78	76	74	62	984	957

イ. 内容内訳(R6年度より内容別に複数計上)

(単位 : 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
診 療 予 約	33	42	34	28	22	28	41	39	20	27	30	29	373	362
初 診 時 面 接	28	30	29	25	20	27	25	24	25	23	19	16	291	326
医療・福祉支援策等	10	7	9	8	11	12	14	19	30	16	24	17	177	118
他 機 関 ・ 施 設	10	9	9	9	4	8	9	2	1	11	0	2	74	88
集 団 生 活	0	2	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	6	18
家 庭 生 活	1	0	0	1	1	1	1	1	3	0	2	2	13	14
地 域 生 活 支 援 策	0	0	6	9	8	8	1	2	1	1	0	1	37	31
そ の 他	10	20	9	9	4	8	3	20	3	3	2	2	93	0
合 計	92	110	96	90	71	93	94	107	84	81	77	69	1,064	957

ウ. 経路内訳

(単位 : 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
医 療 機 関	17	12	9	7	13	12	14	11	12	15	12	10	144	131
保 健 所	32	34	23	28	16	21	27	31	19	18	14	17	280	293
児 童 相 談 所	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	7	3
学校(教育機関含む)	2	9	9	8	3	9	13	5	4	1	6	7	76	36
保 育 所 ・ 幼 稚 園 等	6	14	14	8	7	11	13	10	8	8	6	7	112	109
福 祉 施 設	4	8	15	5	6	4	8	4	8	7	7	8	84	94
インターネット・母子手帳等	11	3	5	5	3	6	5	2	5	3	9	7	64	76
知 人 ・ 親 の 会	2	2	1	3	0	4	0	2	1	1	1	1	18	24
利 用 者	13	24	16	20	7	7	10	17	20	23	18	5	180	182
そ の 他	2	3	3	2	6	2	1	0	0	0	0	0	19	9
合 計	90	110	96	86	62	76	91	83	78	76	74	62	984	957

②外来診療

ア. 診療科目別内訳(累計人数)

(単位 : 人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
発達外来	初 診	26	30	25	25	20	28	25	24	25	21	17	16	282	319
	再 診	828	918	866	965	731	925	963	832	867	814	852	901	10,462	10,642
整 形 外 科		23	22	18	20	23	19	17	26	21	22	24	23	258	254
精 神 科		2	9	7	10	8	10	8	11	8	12	10	12	107	106
耳 鼻 咽 喉 科		6	6	7	7	4	6	6	5	5	3	4	3	62	48
耳鼻咽喉科(難聴)		23	21	29	23	23	22	21	19	26	18	10	27	262	272
眼 科		21	18	27	20	22	27	23	23	20	21	19	24	265	254
合 計		929	1,024	979	1,070	831	1,037	1,063	940	972	911	936	1,006	11,698	11,895

イ. 訓練別内訳(累計人数)

(単位 : 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
理 学 療 法	221	222	171	217	167	203	229	202	207	182	177	201	2,399	2,621
作 業 療 法	149	153	163	148	121	154	152	147	156	170	164	173	1,850	1,964
言 語 聴 覚 療 法	160	138	134	127	121	144	151	148	129	124	129	138	1,643	1,743
心 理 療 法	183	275	220	231	149	231	216	159	180	212	200	185	2,441	2,479
視 能 訓 練	38	45	48	41	40	42	43	45	40	40	37	43	502	522
合 計	751	833	736	764	598	774	791	701	712	728	707	740	8,835	9,329

ウ. 診療・訓練地域別内訳(累計人数)

(単位 : 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
宮 崎 市	1,532	1,663	1,528	1,645	1,271	1,629	1,695	1,489	1,515	1,487	1,490	1,567	18,511	18,909
国 富 町	46	70	58	59	45	56	54	46	52	40	50	57	633	776
綾 町	20	26	34	30	38	27	24	26	19	21	18	25	308	320
そ の 他	県 内	82	98	95	100	73	99	81	80	98	91	85	1,079	1,218
	県 外	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1
合 計	1,680	1,857	1,715	1,834	1,429	1,811	1,854	1,641	1,684	1,639	1,643	1,746	20,533	21,224

エ. 通所部利用児・者支援数(累計人数)

(単位 : 人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
言語聴覚療法	児童発達	0	0	30	12	24	29	26	23	29	31	23	22	249	638
	生活介護	9	10	6	2	2	3	4	4	4	9	6	16	75	50
作業療法	児童発達	9	7	50	19	22	31	33	46	38	25	27	18	325	864
	生活介護	32	23	28	17	17	52	46	41	19	28	28	21	352	397
理学療法	児童発達	0	0	20	12	8	26	27	29	16	20	16	10	184	651
	生活介護	28	18	9	7	7	26	24	22	37	19	25	19	241	145
心理療法	児童発達	0	0	0	12	15	16	20	20	15	16	19	16	149	0
合 計		78	58	143	81	95	183	180	185	158	148	144	122	1,575	2,745

《通所部》

①在籍児者数

(単位 : 人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
児童発達 支援センター すびか	開所日数	21	19	20	22	15	19	22	20	20	19	18	17	232	232
	利用実人数	40	39	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	479	475
	利用延べ人数	753	653	709	778	497	679	800	722	723	642	635	631	8,222	7,823
指定生活介 護事業所 宙(そら)	開所日数	21	20	20	22	14	19	22	20	20	19	18	19	234	238
	利用実人数	46	46	47	43	44	45	45	44	42	42	43	43	530	541
	利用延べ人数	344	335	336	329	215	319	356	313	302	282	273	289	3,693	4,085
合 計(利用延べ人数)		1,097	988	1,045	1,107	712	998	1,156	1,035	1,025	924	908	920	11,915	11,908

②在籍児者地域別内訳

(単位 : 人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
宮崎 市		1,058	949	1,008	1,081	689	969	1,120	1,005	999	896	878	892	11,544	11,094
西 都 市		7	6	7	6	5	6	6	6	7	6	6	8	76	77
国 富 町		8	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	470
新 富 町		24	25	25	20	18	23	30	24	19	22	24	20	274	267
そ の 他	県 内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県 外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計(利用延べ人数)		1,097	988	1,045	1,107	712	998	1,156	1,035	1,025	924	908	920	11,915	11,908

《地域生活支援部》

①宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
障がい者相談支援事業	236	229	253	243	228	209	280	219	216	201	196	183	2,693	2,851
療育等支援事業	訪問療育	0	2	0	0	0	0	0	0	3	1	0	6	6
	外来療育	1	1	3	5	6	6	3	2	1	0	1	30	24
	施設支援	1	4	5	6	4	1	0	0	0	0	0	21	33
巡回支援専門員整備事業	7	19	18	17	17	23	20	27	20	24	26	25	243	169
合 計	245	255	279	271	255	239	303	248	237	229	223	209	2,993	3,083

②サービス等利用計画書及び障がい児支援利用計画書 作成実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
計 画 相談支援	新規 更新・変更	2	8	4	10	2	1	2	5	4	3	3	47	57
	モニタリング	0	2	1	2	1	0	1	2	0	1	0	11	28
障がい児 相談支援	新規 更新・変更	7	29	12	15	5	12	14	12	6	12	13	157	190
	モニタリング	1	4	4	2	8	1	2	6	2	7	5	44	87
合 計		10	43	21	29	16	14	19	25	12	23	21	259	362

③保育所等訪問支援事業(延べ人数)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
保育所等 訪問支援 事業	乳 幼 児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
	その他児童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23

④そうだんサポートセンターすびか 障がい児支援利用計画書 作成実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
計 画 相談支援	新規 更新・変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい児 相談支援	新規 更新・変更	1	10	6	3	3	6	4	5	8	6	2	69	62
	モニタリング	0	3	5	2	5	6	4	4	3	2	3	40	54
合 計		1	13	11	5	8	12	8	9	11	8	5	109	116